


全国地中熱フォーラム		<b>取組開始時期</b>	2019年	<b>取組の</b> <b>カテゴリ</b>	環境対策
<b>1. 団体名</b>	特定非営利活動法人 地中熱利用促進協会	<b>2. 連携先 の団体</b>	地中熱利用の普及活動を行っている全国14の団体（具体名は「5取組詳細」参照）、本フォーラムの前身である全国地中熱利用促進地域交流を含め32自治体からの講演（具体名は「自由記載欄」参照）		
<b>3. 取組 目的</b>	再生可能エネルギーである地中熱の利用促進をはかることにより、地球温暖化対策を進め、豊かで快適な生活が送れる持続的社會を目指していく。		<b>4. 関連する ゴール</b>		

**5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）**

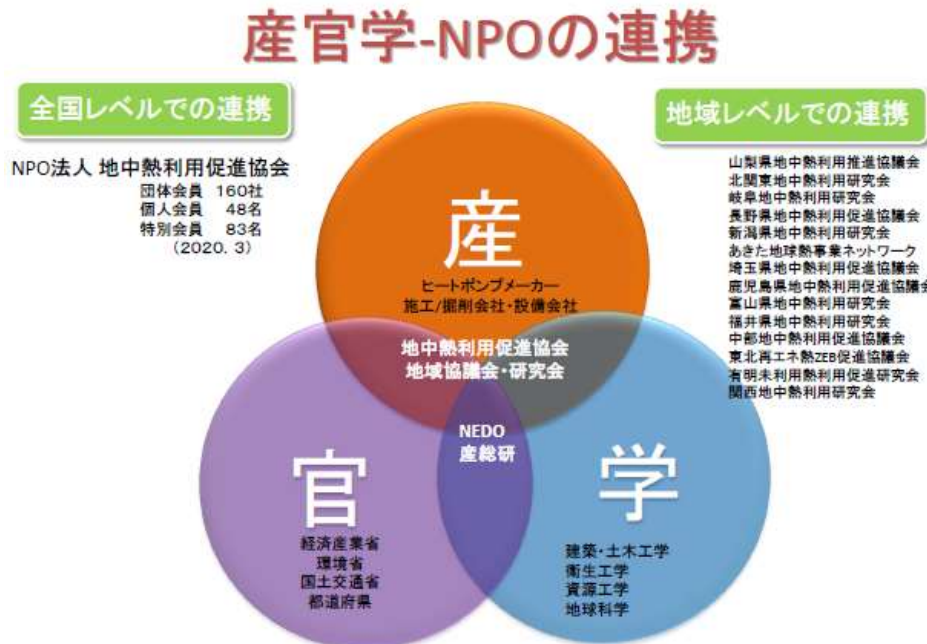
再生可能エネルギーである地中熱は、全国どこでも利用できる私たちの足もとにあるエネルギーである。地中熱は国のエネルギー基本計画、環境基本計画に明記されており、関連する業界、自治体での認知度は上がってきているが、一般の企業や市民層での認知度はまだ低い状況にある。NPO法人地中熱利用促進協会（2004年設立）では、地中熱の普及に向けた様々な活動を行っているが、2019年度から関連する業界、自治体および地球環境に関心を持つ市民を対象に地中熱利用の最新情報をお伝えする「全国地中熱フォーラム」という総合的なイベントを開催している。

このフォーラムを開催する大きな目的は、地中熱という再生可能エネルギーの利用促進をはかることにより、地球温暖化対策を進め、豊かで快適な生活が送れる持続的社會を目指していくことにある。フォーラムでは、国連のSDGs（持続可能な開発目標）の中にある地中熱に関連する目標を普及活動のベースに位置づけ、広い視野から地中熱を見ることができるセッションや展示を企画している。

再生可能エネルギーをヒートポンプなどの省エネ機器と組み合わせて使う地中熱利用は複数の技術分野にいる。このフォーラムではそれら全体を理解していただけるように企画し、全国の導入状況、企業の製品情報、産官学による技術開発、国の政策や補助金などの最新情報をわかりやすく伝える。

地中熱は地産地消のエネルギーであることから、地中熱利用の普及には地域と連携した活動が必要であり、現在、全国14の地域団体と当協会との連携を核にして、国、自治体に協力いただく形での官民連携体制を構築し（右図）、全国地中熱フォーラムを開催している。

第1回を2019年度東京で開催し、2021年度は第2回を新潟で予定している。



自治体については「自由記述欄」参照

**取組のポイント（3つの視点）**

**地方創生SDGsの視点**

地産地消の再生可能エネルギーである地中熱を地域で普及させることにより、地域でのエネルギーの自給率を高め、マネーの域外流出を抑える。地中熱利用事業は、地域の企業が貢献できる比率が高く、地場産業の育成による地域経済圏の発展に寄与する。CO2削減効果が大きいので環境面で貢献する。

**ステークホルダーとの連携**

開催地域で地中熱利用の普及を行って地域団体（全国に14団体）、自治体（「自由記載欄」参照）と連携して実施している。また、国の機関として、経済産業省、環境省、国土交通省に後援をいただいている。さらにNEDO、産総研とも連携して、講演等を企画している。

**モデル性・波及性**

全国地中熱フォーラムは東京と地域での開催を隔年で行い、東京での開催は総合的な内容で、地域での開催は、地域性を生かした内容で実施する。地域開催では地元の自治体と地域団体と連携が重要であり、その地域における地中熱利用の普及拡大も目標にしている。

## 自由記述欄

### 全国32の自治体と連携した活動

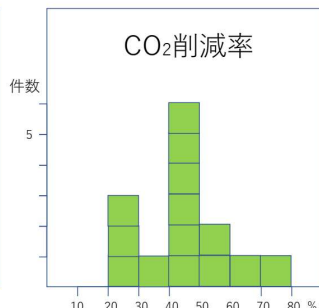
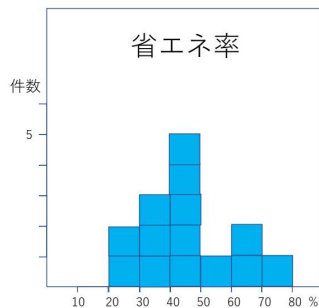
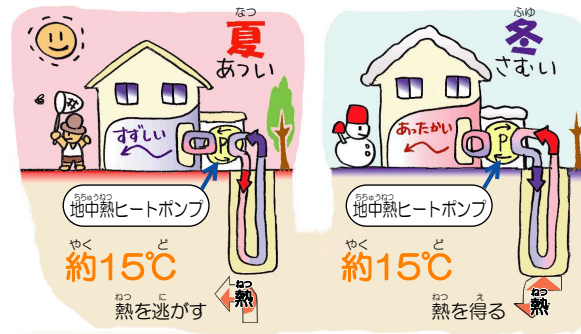
「全国地中熱フォーラム」はその前身「全国地中熱利用促進地域交流」(2011年～2018年)を含め、以下の32自治体(8都道府県、24市町村)と連携して活動を行っている。これらの自治体の中には、地中熱利用の普及に力をいれているところが数多くある。

群馬県、岐阜県、山梨県、新潟県、長野県、愛知県、福島県、佐賀県、東京都環境局

岐阜市、大垣市、甲府市、中央市、新潟市、魚沼市、小千谷市、柏崎市、佐渡市、上越市、十日町市、長岡市、南魚沼市、湯沢町、軽井沢町、瀬戸市、豊明市、大口町、大府市、西尾市、郡山市、佐賀市、鳥栖市、多久市、武雄市、小城市、嬉野市、神崎市、基山町、上峰町、白石町、太良町、

### 地中熱利用の現状

地中の温度は年間通して一定であるので、地中熱は夏は冷房、冬は暖房の熱源として、ヒートポンプなどを使って効率的に利用できる。2017年時点で地中熱非系ポンプシステムは、全国に2662件設置されている。



### 利用実績

全国14か所の地中熱設備導入施設における地中熱ヒートポンプの利用実績からみた省エネ率とCO<sub>2</sub>排出量の削減率(データは、地中熱利用促進協会のホームページに掲載)

**特別招待券**  
SPECIAL INVITATION TICKET



# 全国地中熱フォーラム 2019

— 持続的社會と地中熱最新動向 —

## 11月11日(月)

### 入場無料

会場: 品川区立総合区民センター「きゅりあん」  
11月12日(火) 現地見学会

**後援**

経済産業省、環境省、国土交通省、東京都(以上推薦申請中)、気候ネットワーク、空調調和・省エネ工学会、建築設備技術者協会、産業技術総合研究所、全国さく井協会、日本建築士会連合会、日本地熱学会、ヒートポンプ・蓄熱センター

**主催**

特定非営利活動法人地中熱利用促進協会

### プログラム

**11月11日(月) 8階大ホール 10:00~16:45 (開場9:30) 資料代1500円(当日払または引換券)**

■開会 10:00~10:15  
主催者挨拶: 笹田政亮 NPO法人地中熱利用促進協会 理事長  
来賓挨拶: 遠藤利明 衆議院議員 地中熱エネルギー利用促進議員連盟会長  
来賓挨拶: 東京都

■セッション1「SDGsと地中熱」 10:15~12:00  
基調講演: [SDGsの時代における地中熱の可能性]  
坂廣淳子 大学院大学至善館教授・幸せ経済社会研究所所長  
講演: [RE100参加と脱炭素社会づくりに向けたリコ-の取り組み]  
阿部智嗣 (株)リコ- サステナビリティ推進本部社会環境室長  
講演: [なぜ、かまぼこ屋がエネルギーのことを考えるのか]  
鈴木保介 館濱かまぼこグループ 代表取締役副社長  
講演: [長野県環境エネルギー戦略とSDGsの取組]  
真間 隆 長野県環境部環境エネルギー課長  
パネル討論: [SDGsと地中熱]  
コーディネータ 菅 理 (国研)産業技術総合研究所FREA 地中熱チーム

■ミニコンサート 12:10~12:40  
演奏: ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン(MMCJ)

■セッション2「技術の最新動向」 13:30~15:00  
ヒートポンプ・蓄熱センター地下熱研究会との共同企画  
基調講演: [地中熱利用の最新動向と展開]  
長野克則 北海道大学大学院工学研究科教授  
講演: [地中熱利用システムの設計 ZEB化の推進に向けて]  
梶井 崇 (株)日本設計常務執行役員  
講演: [地中熱利用システムの建築家への導入]  
塚谷正樹 島根建設(株)技術研究所所長  
講演: [NEDOの地中熱利用技術開発]  
谷口聡子 (国研)NEDO新エネルギー部熱利用グループ主管

■セッション3「自治体の政策と公共施設への導入」 15:30~16:45  
地中熱利用促進に向けて活動する地域団体との共同企画  
基調講演: [地中熱利用に対する環境省の取り組み]  
羽澤敏行 環境省地下水・地盤環境室室長補佐  
講演: [CO<sub>2</sub>ゼロやまなしと地中熱]  
市川美季 山梨県エネルギー局長  
トーク: [地中熱の導入計画・技術選定とプロセスを聞いてみよう]  
赤井心志 福島大学共生システム理工学専任教授 ほか

**11月11日(月) 7階イベントホール 12:00~18:00**

■イベントホール A B(7階) 12:00~17:00  
展示案内のプレゼン: 地中熱利用促進協会 12:45~13:00  
普及講演: [ゼロからの地中熱 ~普及のために私たちがみんなができること~]  
清元栄起 埼玉環境科学国際センター専門研究員 13:00~13:25  
補助金情報のプレゼン: 地中熱利用促進協会 15:05~15:20  
地中熱特産品コーナー: かまぼこ イチゴ トマト しいたけなど

■イベントホール A B(7階) 18:00~20:00 有料  
意見交換会 参加費5000円(当日払) 定員150名

■イベントホール C D E(7階) 12:00~18:00  
企業・団体展示(五十音順)  
ARIGAグループ、(株)イノアック住環境  
取組コンクリート杭基礎による地中熱利用工法研究会  
北関東地中熱利用研究会、岐阜地中熱利用研究会  
(株)調和、サンボット(株)、ジオシステム(株)  
ゼネラルヒートポンプ工業(株)、(株)ダイワテック  
中部地中熱利用促進協議会、東邦地中(株)、(株)ナリキ、日本地下水開発(株)  
日本熱源システム(株)、(株)バイオテックス、ミサワ環境技術(株)  
三菱マテリアルテクノ(株)、(株)守谷商会、  
山梨県地中熱利用推進協議会/(株)萩原ボーリング、(株)ワイビーエム  
(8月26日までの申込分)

**11月12日(火) 現地見学会**  
(現地集合・現地解散)

コース1: 東京スカイツリーの地中熱利用設備(東京都墨田区) 定員20名  
参加費無料 10:00~12:00  
コース2: 鈴鹿本社、工場などの地中熱利用設備、ZEB(小田原市) 定員40名  
参加費5000円(昼食込み) 10:30~16:30

企画展示  
地中熱利用設備導入の全国の庁舎・東京オリンピックパラリンピック施設  
地中熱利用の省エネ・省CO<sub>2</sub>実績、地中熱ポテンシャルマップ  
補助金情報、住宅での地中熱利用

